

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス桜の木2号館		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 3日		～ 2024年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2024年 12月 3日		～ 2024年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは安心感をもって通所していますか ・子どもは通所を楽しみにしていますか ・事業所の支援に満足していますか 	<p>お子様だけでなく、保護者の方々も安心して通所出来る支援を意識しております。お子様からの相談事やSOSにはすぐに気づけるよう、職員の視野を広げて連携をとり、保護者には事細かく報告することも意識しております。</p>	<p>2号館は中学生、高校生と思春期のお子様が多く在籍しているのもあり、今後も引き続き、日々の心身の成長に寄り添える支援を意識して続けてまいります。</p>
2	<p>事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫していると思いませんか。</p>	<p>固定する内容とそれ以外で分け、季節や時間、状況に合わせたプログラムを立案しています。同じプログラムでも内容を変えたり、ここに応じた内容を提供するなどお子様が飽きないよう、楽しく取り組める内容を提供しています。</p>	<p>固定しているプログラム「PC学習」ではローマ字入力が定着するまで、行っております。それ以外「作業学習」は就労を意識した内容を行い、就労先と連携をとり、作業内容を工夫しております。「生活学習」は自立を意識した内容になっております。保護者から伺ったお子様の強みや弱みを内容にして向上を目指しております。</p>
3	<p>こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているとおもいますか。</p>	<p>当事業所の職員は様々な内容の研修を行っており、言語療法士、作業療法士、心理療法士からも支援方法を伺っております。中学生のお子様は日々の心身の成長に伴って様々な悩み等を保護者と共有できるように意識して行っております。</p>	<p>お子様によって、進路や自立の目標が違っておりますので、高校卒業まで保護者と細かく情報共有を行いつつ、お子様の特性に応じた支援が引き続き行えるよう意識してまいります。</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。</p>	<p>平日は時間帯にも難しく、土曜日や長期休暇を利用してと検討しているが、2号館は中学生、高校生が多く、地域のお子様との交流に関しましては、お子様の様子を見ながらと思いつつ、取り組みが行えていない。</p>	<p>毎月夏に行われている、夏祭りや地域の方達との交流があるので、そのときの様子を拝見しつつ、児童クラブや児童館との交流機会が確保出来ればと検討しております。</p>
2	<p>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。</p>	<p>4ヶ月～6ヶ月に一回のペースで保護者同士の交流会「懇親会」を開催しておりますが、きょうだい向けのイベントに関しては開催しておりません。</p>	<p>懇親会に参加出来なかった保護者の方々には、話にあがった内容や資料を配付できるように、きょうだい向けのイベントは「夏祭り」に参加されたきょうだいの方々のみとなっておりますので、ご要望のお声がありましたらご提供できるよう検討してまいります。</p>
3	<p>事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報共有の機会等が行われていますか。</p>	<p>懇談や電話、LINEなどで相談、助言等をさせて頂いておりますがペアレント・トレーニングは行えておりません。</p>	<p>懇親会時に、簡単な資料をお渡しして、情報共有は行っておりますが、研修会は出来ておりません。ペアレント・トレーニングや研修会等のご要望のお声がありましたら、ご提供できるよう検討してまいります。</p>

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後デイサービス桜の木2号館

公表日 R7年2月10日

利用児童数 30人

回収数 26人

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	0	0	1	・引越しをしてからとても広々していて白く統一されていてびっくりしました。 ・引越しをして天井が高くなっていました。	・ご意見ありがとうございます。昨年度転移し、広々とした空間になり、お子様の活動スペースが十分に確保されているかと思えます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	1	・新しくなって広さもありとても過ごしやすと思います。	・ご意見ありがとうございます。昨年度転移し、活動に合わせてお子様が心地よく過ごせる環境に整えられるよう日々意識してまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	0	0	0	・とても良く理解してくれていてありがたいです。	・ご意見ありがとうございます。引き続きお子様の特性等を理解しつつ専門性のある支援を行ってきたいと思っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	0	0	0	・色々なことが経験できてとてもありがたいです。	・ご意見ありがとうございます。就労や自立を支援したプログラムを取り入れていますので、今後も固定化しないように工夫をしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	6	11	・我が子は年頃もあって、地域の子達と活動と一緒にするのが難しいですよね。	・ご意見ありがとうございます。今年度は交流する機会ございました。2号館は中学生、高校生のお子様が多く、地域のお子様との交流に関しまして、お子様の様子を見て考えて行きたいと思っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	1	0	1		
保護者 への 説明	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	0	0	0	・すごく細かく伝えて下さると思います。	・ご意見ありがとうございます。引き続き、細かくお伝えし、共通理解ができるようにしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助産等の支援が行われていますか。	26	0	0	0	・色々相談ののってらって助かります。	・ご意見ありがとうございます。引き続き、相談時や送迎の時以外でも、ご対応させて頂きます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	0	0	0	・いつも親身になってもらってあたたかいです。	・ご意見ありがとうございます。引き続き親身に寄り添わせていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	22	1	0	3	・前回参加させてもらって又機会があればぜひ参加したいと思います。	・ご意見ありがとうございます。昨年は6月と10月に開催させて頂きました。不参加のかたへは保護者会の内容をお送り出来ればと思っております。来年度は年に3回開催出来ればと思います。きょうだい向けのイベントに関しましては、お声があれば今後検討していきたいと思っています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	0	0	0		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	0	0	0		
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	0	1			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	1	・時々入れ間違い等がありましたので…	・ご意見ありがとうございます。入れ間違いの件でご迷惑をおかけしました。今後はそのような事がないように、教員の職員で確認を行い、個人情報の取り扱いに十分留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	0	・第2の家のように安心して通っているかと思います。 ・家より居心地が良いそうです。	・ご意見ありがとうございます。お子様が安心して通所出来ていると伺い嬉しく思います。引き続き安心感を持って通所できるように心がけていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	0	0	0	・通所日のプログラム内容を見て楽しみにしています。 ・毎週楽しみにしています。 ・思春期なのが行く前は険しい表情ですが、めっちゃ楽しかったと帰ってきます。	・ご意見ありがとうございます。お子様が日々の通所を楽しみにしていると伺い嬉しく思います。引き続き、楽しめるようなプログラムを考え、引き続き楽しく過ごせる環境に整えて行きたいと思えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	0	0	0	・いつも細かい所まで見てもらって相談にものってもらい助かっています。 ・大満足です。先生方に感謝しています。	・ご意見ありがとうございます。大満足と嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き、お子様だけでなく、保護者の方にも安心して頂ける事業所を目指して行きたいと思えます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後デイサービス桜の木2号館		R7年2月10日			
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		指定基準に基づいて、指導員室のスペースを確保しております。しかし、平日は来ている子どもが多く、大きな子どもが慣れると狭く感じる時がある。	移転をしてから、天井も高く、ワンフロアになり見通しが良くなりました。しかし、横になる子が増えるスペースが狭く感じる事がありますので思わないように工夫していきたいと思っております。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		指定基準以上を満たした職員を配置しているが、送迎の時間帯や曜日によっては指導員の数が少ないと感じる時がある。利用者の様子により、人手が少ないと感じる時はある。	保育士、自閉症スペクトラム支援士、発達支援員、介護福祉士等様々な資格を有し、実務経験5年以上の児童指導員が多岐勤務しております。送迎時間帯に指導員に充てる職員が少なくなる事が懸念となっております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		移転し、バリアフリー化しており、車椅子のお子様も安全かつ過ごしやすい空間になっている。トイレに手すりがある。	移転をしてから室内はワンフロアになり、門柱から室内まで全てバリアフリーとなっております。トイレも使用するお子様に合わせて手すりを設置しております。指導員室には事故防止の為、手すりの設置はありません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		スペース空間がしっかり確保されているので、利用者も安全かつ過ごしやすい空間になっている。子ども達の活動に合わせた机や椅子の配置を行っている。活動前後には机を消毒して感染対策に取り組んでいる。	引き継ぎ子ども達の活動に合わせた空間を作り、ストレスなく、安心して過ごせる生活空間の確保と感染対策に努めています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個室ではないが、カーテン等を活用し、プライベートの空間が利用できる環境がある。利用者の気持ちの切り替えのみのスペースや利用者数が落ち着く環境が確保されている。個別の空間はとれていない。洗面所等に移動しカーテン等で仕切りを行っている。	現在、個室はありませんが、集中したい時やクールダウンを行う際は、職員が必ずそばにいる状態で、カーテンで仕切り、ホールにある椅子に座ってクールダウンを行う環境は整っております。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		開始前、ミーティングなどで利用者の様子を職員間で共有している。ミーティングや朝の送迎終了後に気になる部分は話し合い目標設定と振り返りを行っている。	今後も日々、目標設定と振り返りを行い、ミーティングで話し合わせた改善事項等は職員の共有理解を図る為に記録し、全職員は共有する様に努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎年、保護者向けの評価表にご記入頂き、業務改善や子どもへの支援に役立てています。なお評価の結果はHPにて公表させて頂いております。	業務改善にまで至っていない項目もありますので、今後更なる改善を図ってまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎日のミーティングで意見交換や問題点などの話し合いを行い、業務改善の場面に意見を伺って職員が把握出来る様に努めています。その意見を次のミーティングに反映し、業務改善につなげるよう、全員で話し合いを行っております。	ミーティングや業務の前後に意見交換はしているが「意見を把握する機会」というのは設けていないため、全職員の意見を把握出来るわけではありませんが、今後「意見を把握する機会」を作っていくように努めていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6	現在、第三者による外部評価は行っていません。	今後の課題として検討致します。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10		事業所内の研修機会を積極的に設け、日程を年間で見直し、予定に沿って行っています。新人研修も行い職員の資質向上を図っています。	従来から受講している職員は元より、新しい職員に対して、研修から学んでいけるように内容を細分化して時間を割けて行いました。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		お子様の得意、不得意や保護者様からのご要望を伺い、そして就労支援施設からの情報を元に、日々様々な活動を組み込みプログラムを作成しています。R6年度4月より5領域の視点を含めたプログラムを作成し、HPにて公表予定。	5領域の視点を含めた総合的な支援を今後も考えながらプログラムを作成してまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		年2回の懇話会でお子様の様子を詳しくお聞かせ頂いています。個別支援計画とその評価に基づいた関係者をお話する事でニーズに合った課題を洗い出し、目標を見直し、設定しています。	懇話会では対面でお話しをさせて頂いたり、電話やZOOMでの相談も有り、ほとんどの方とお子様の現状や成長、課題についてお話をさせて頂きました。その内容に応じた計画書の作成を行いました。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		最初の計画書の作成は発達支援が行いますが、それ以降は全職員に確認を行っていただき、日々の様子や新たな課題点や問題点などを話し合い、子どもにとってより良い支援が出来る計画書に反映しています。	毎日の他の業務があるので、全職員で検討する時間を持つ事が難しい場合がある。全員で検討出来る時間を作っていくよう改善を図ります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		療育にあたる全職員が、サービス計画に反った支援を実施しております。日々の保護者様との連絡帳でのやりとりの中から、その都度話し合い支援を考えております。	今後も保護者様の意向を伺い、お子様の様子を見ながら成長や環境の変化に柔軟に対応していくことに、より一層努めて、丁寧にわかりやすく療育、支援してまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		子どもの日々の様子を丁寧に観察し、その時の子どもの状況に応じた支援を提供しています。子どもの行動は日々変化が有るため、その時ご本人の気持ちや様子を見ながら支援方法をその都度考えています。	現状職員間の口頭や記録での情報共有を密にっており、アセスメント作成まで至っていないので改善を図ります。
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		R6年4月より、個別支援計画書を提供すべき支援の5領域を含めた項目に設定し、「本人支援」「家族支援」「移行支援」に項目を分けて、ねらい及び支援内容を記載しています。ご本人の様子や保護者様のご要望を伺いした上で、個々に応じた支援内容に設定しています。	中学から高校へ、高校から就労、進学のお子様が多く、「地域支援・地域連携」については、記載出来ていないため、ご家庭毎に地域の学校や地域の活動などに参加していただけるよう改善を図ります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		担当職員がプログラムを立案し、療育に関わる全職員にプログラムの内容、個々のねらい、アプローチの仕方を説明し、役割分担等も打ち合わせをしています。	正職員が立案しているため、時間的に他の職員からの意見の取り入れが難しい所ではあるが、療育後、活動内容を聞き取り、改善点を話し合い、個々に支援に繋がるようなプログラムを立案しているように努めます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		固定する内容と、それ以外で分けて、季節や時間、状況に合わせてプログラムを立案しています。同じプログラムでも内容を変えたり、個々に応じた内容を提供するなど、お子様が飽きないように楽しく取り組める内容を提供しています。	今後も自立や就労、進学を輩出したプログラムを中心に1人1人が様々な経験を積めるように、曜日等の固定化をしない工夫をしてプログラムに取り組んでまいります。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		お子様の現状の状況に合わせて、特性を踏まえた個々の課題、社会性などの集団での課題を組み合わせ、個別支援計画を作成し、支援しております。	お子様の日々の成長や環境の変化により、個別、集団での目標内容が変化していくことが多い為、今後もそれぞれの状況に合わせて計画を作成していきたいと思っております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		お子様が来所する前にミーティングを行い、子ども達の様子を情報共有とその日の支援内容や役割の確認を行っています。	引き継ぎミーティングの時間を設け、お子様の情報共有やその日の支援内容や役割分担の確認を行います。ミーティングが行えない場合は引き継ぎファイルにて確認し、全職員が子どもたちの様子や本日の内容を理解し、情報共有出来る様に徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		支援終了後、お子様の様子で気になった点、送迎中の様子、送り時の保護者からの要望等、管理責任者に報告してから就業するようにしています。翌日のミーティングで職員間での協議や共有化をしています。	送迎時間等の関係で全職員による打ち合わせは困難な為、その日においた事やケース記録に記入したり、管理責任者に報告し、緊急事態を要しては翌日に話し合えるように努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		支援終了後、その日の支援内容をケースに記録しています。支援に関して翌日のミーティングで取り上げ、全職員で支援の検証をし、改善案を練り共通理解の元、連携して支援に当たっています。	引き継ぎ、当日の様子等を前日出動していない職員に引き継ぎ、漏れがないようしっかりと記録し、振り返りを行う事で、よりよい支援が行えるように努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		6ヶ月に1回、モニタリング及びサービス計画書の見直しを行っております。お子様の状況が変化した場合に早急にモニタリングを行っております。	今後も継続して行います。6ヶ月に1回とらわれず、環境やお子様の様子が大きく変わった場合などは、その都度話し合いを持ち、計画を見直ししていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	10		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」の4つを組み合わせた支援を行っています。日々の生活を基本に創作活動や余暇活動では季節を感じられる活動を取り入れて支援しています。	「地域交流の機会の提供」に関してはボランティアの受け入れ、夏祭りなどで出来ないの、学校他事業所、地域の活動に参加するなど、地域との交流を図っていくよう改善を目指します。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		子ども達の発言や意思表示を大事に支援しています。発語が難しいお子様にはイラストや写真練習や、2択にして選んでもらうなど、それぞれにあった方法で意思表明や自己決定が出来るように支援しています。	今後も個々に応じた方法で自己選択する機会を作り自己決定をする力が育つように努めていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	10		サービス担当者会議には、管理責任者が出席し、対象児童についての話し合いを行っております。また、会議に参加するに当たり指導員と児童交換を行ってから出席するようにしています。	サービス担当者会議には、児童発達管理責任者が出席するようにしていますが、16時頃が多く、室内に子ども達がたくさん利用している状態で直接支援を行う児童指導員が抜けることは子ども達の安全が確保出来ない為、児童指導員の出席は難しい現状です。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		全利用者ではありませんが、個別に対応させて頂き、連携して支援体制を整えています。	引き継ぎ、連携して支援を行い、体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		送迎時に担任の先生と利用日や利用時間について連絡調整を行っております。その他、変わった様子などあれば情報を共有させて頂いています。緊急時は直接連絡をとるようにしています。	全ての学校と連絡調整は出来ていませんので、今後連携していけるように改善を図ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか。	9	1	現在利用しているお子様が小学4年生～高校3年生のため、保護者様、相談支援員からの情報のみとなっておりますので、左記の機関との連携は行っておりません。	就学時の園等との情報共有を行うことは出来ないため、今後はスムーズに移行出来る様に連携を取ってきたいと思っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		障害福祉サービス事業所へ、ご本人や保護者と一緒に見学へ行った時、移行先の事業所が決まれば、今までの支援内容の提供提供を行っております。	引き継ぎ、学校から卒業し、福祉サービス等への移行となった場合は、これまでの支援内容等を伝達し情報共有していきたいと思っております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		管理責任者が各関係機関と連携を取り合い、連携出来ており、これまで主催する研修にも参加させて頂いております。	今後も連携し、研修の機会があれば積極的に参加していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	7	現在、児童クラブや児童館との交流はありません。	平日は時間帯にも限らず、土曜日や長期休暇を利用してと検討しましたが、2号館は中学生、高校生のお子様が多く、地域のお子様との交流に關しまして、お子様の様子を見て考えていきたいと思っております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	5	現在まで自立支援協議会等への参加はありませんが、HP等で情報収集は行っております。	今後機会があれば積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10		連絡帳でのやり取りや送迎時に直接お話をさせて頂いております。内容によってはお子様の送迎前に電話やLINEでお伝えし共通理解を持っています。	引き継ぎ、お子様の自尊心を守る為、ご本人の目に触れたり耳に入る事のないように配慮し、課題を保護者様にお伝えます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		相談や電話、LINEなどで相談、助言等をさせて頂いております。ペアレント・トレーニングは行っておりません。	今後、行っていけるように検討します。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		ご利用契約時に契約書をお渡しし、重要事項説明書に沿って説明し、変更があればその都度説明させて頂いております。	今後もその都度、変更や問い合わせがあればご説明をさせて頂きます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		年に2回の懇談の際に子どもの様子や課題、苦手、関心点などを細かくお話しし、ご本人や保護者様の意向を確認しています。懇談だけではなく送迎時や連絡帳など、その都度ご要望があれば伺い、意向を確認しながら支援をすすめています。	今後もご本人や保護者の意向を確認しながら支援方法を考えたいと思っております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		6ヶ月に1回の懇談でお子様の課題点を洗い出し、ご要望に沿ったサービス計画を作成します。ご確認後、問題がなければ署名を頂いております。	今後もご家庭との連携が図れるよう、お子様の成長、自立に向けて支援内容の丁寧な説明に努めてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		年に2回、懇談を実施しています。また、日々の連絡帳やメールやお電話、LINEなどでもお子様に対するご相談を常時承っております。	引き継ぎ、保護者様の気持ちに寄り添い、必要であれば学校や各関係機関に迅速に携わっていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		昨年までコロナ禍というもあり控えておりましたが、今年度は6月、10月と2回保護者会を開催することが出来ました。きょうだい同士の交流は夏祭りがございますので、ぜひご参加して頂きたいと思っております。	引き継ぎ、年に3回を目録に保護者会を開催したいと思っております。参加出来なかった保護者様にはその時に配布しておりました冊子等をお渡しし情報共有出来るように努めてまいります。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	苦情は連絡帳、送迎時、電話、メール、LINE等や相談でご意見や苦情を伺っております。翌日、ミーティングにかけ対応、改善に早急に取り掛かります。苦情の内容、改善期は全職員で共通理解を図っております。	苦情の無いように努力すると共に、その対応に関して速やかにかつ適切に行い、改善に乗けるように努めて参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	毎月中旬にプログラムを配布して行事予定をお知らせし、活動概要をお伝えしております。一週間に一度のプログラム更新の掛け、子ども達の日々の様子をお伝えできるように努めています。	より細やかな情報提供が出来ると、配布プログラム、プリントを工夫していきます。プログラムにも努めて参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	ケース記録に個人情報をもとめ、目隠しする保護者で管理しています。全職員に守秘義務を徹底しております。個人情報の配布に関しては送迎時に直接手渡し、もしくは連絡帳にて配布、顔見せのないように徹底しております。	今後全職員が守秘義務に徹底し、写真の掲載に関して個人情報が確定されることのないよう写真を加工するなどして個人情報の保護を徹底してまいります。配布物の誤配がないように複数回目で確認していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	日々の連絡帳やプリント、電話、メール、LINE等で保護者様と意思疎通、情報での伝達に努めています。お子様には口頭での説明（聴覚）や見本や板書等（視覚）の情報で伝わり易い配慮をお伝えしています。	引き続き、それぞれのお子様ごとの特性や保護者様に配慮し、地域に寄り添った事業所であるよう意思疎通や情報伝達を行っていきたく思います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	10	毎年、夏祭りを開催し、地域住民に案内を配布して交流をはかっており、今年度も地域住民を招待して開催致しました。	引き続き、夏祭りでは地域住民の方々をご招待して実施し、地域に関わった事業所を目指してまいります。そして他事業所からのご招待も、出来る範囲で参加させて頂きます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	各マニュアルを作成しております。緊急時マニュアルは4月に配布し、今年度は引越と共9月にも新たに配布しております。感染症マニュアルはコロナ禍の影響もまだあり、日々変わっておりますので、その都度お手紙で配布しております。	マニュアルの作成、職員への周知は行っていますが、保護者への周知に関しては不十分な面もございますので、必要性があればその都度、改訂し、保護者への周知に努めていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	年4回、火災、地震、津波を想定して視覚・聴覚にも分かりやすい避難訓練を実施しています。多くのお子様に参加して頂けるよう曜日は固定せずに行っております。お子様に分り易く動画を見たりクイズ形式にして興味を持って頂けるように工夫しています。	今後も、子どもと共にいつ来るかわからない災害に備えて、防災意識を高めたいけるような訓練を工夫して実施していくように努めて参ります。視覚聴覚を利用して、平日避難訓練に参加出来ないお子様に対しても実施していきます。
	48	事前に、雇業や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	契約時に雇業や持病について確認をとり、その対応について保護者様の指示を仰ぎ全職員に周知しております。予防接種についてはお子様本人、若しくは保護者様からご連絡の方がある場合は確認がとれています。	引き続き、契約時や感染症の流行する時期に予防接種について確認していけるように改善を図ります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	契約時にアレルギーの確認を行い、医師の診断書やアレルギー検査結果のコピーを頂いております。おやつ提供時やクッキングに使う食材はアレルギーを確認して提供しております。	今後も注意して適切に配慮、対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	外出時や長期休職時など、タイムスケジュールやグループ分け、担当職員など記載した計画を作成しています。	研修や訓練などが不十分であるため、今後改善を図ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	安全計画を作成し、こどもの安全確保は出来ているが、家族等との連携や周知するところまでは出来ていない。	ご家族への周知には至っておりませんので、今後周知していけるように対応していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティングでも報告。課題点を解決できるように職員同士で情報共有し、検討して改善に繋げます。	今後もヒヤリハットを事業所内で共有し、改善に繋げてよりよい支援をしていけるように努めて参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	厚生労働省発行に障害福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引きを元に施設内で研修を行っております。何気ない関わり方について振り返り、それが虐待に当たっていないか等考える機会としました。	今後も、全職員に虐待防止の研修を実施し、日々の関わり方を検証する事で、職員相互で虐待防止の意識を高めていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	現在、該当する児童はいません。	今後も、やむを得ず身体拘束の必要性が生じた場合は当事者や保護者様に事前に十分な説明と了承を得た上でサービス計画書に記載します。